

大学におけるコピー、剽窃、引用などの不適切行為への対応

1. コピーなどの不正行為に対する処分告示や処分細則などの事例

(1) 東京大学教養学部(2015)「期末レポートにおける不正行為について」2015年3月10日

<http://www.c.u-tokyo.ac.jp/fas/huseikoui20150310.pdf>

東京大学教養学部後期課程のある学生の期末レポートにおける不正行為に対して厳正な措置を取ったこと、および、学生に対して強い倫理的自覚を求めた告示。この告示は下記のようにテレビや新聞などで取り上げられるなど社会的関心を呼んだ。

[関連記事]

- 1) J-cast テレビウォッチ(2015)「東京大教養学部「課題論文」75%がコピーの学生！全科目の単位取り消し処分」2015/3/12
- 2) 産業経済新聞(2015)「衝撃「ある東大生のレポートは75%がコピー」東大の告知 論文不正は止められるか」産経ニュース、2015.03.31
<http://www.sankei.com/premium/print/150331/prm1503310005-c.html>
<http://www.itmedia.co.jp/news/articles/1504/01/news059.html>
- 3) 渡辺敦司(2015)「東大におけるコピーレポート問題 警告の背景にある深刻な事情とは？」ベネッセ教育情報サイト、2015/04/21
<http://benesse.jp/news/kyouiku/trend/20150421120025.html>

(2) 早稲田大学商学部(2010)「【重要】レポートにおける不正行為とその処分について」2010年3月9日付けニュースリリース

www.waseda.jp/w-com/news/detail/100309.html

早稲田大学商学部は、本ニュースリリースにおいて、「レポートを作成する際に、参考にした書物やウェブサイト上の他人が書いた文章、資料の一部またはすべてを、出典を明らかにせず転用することは「盗用・剽窃」行為とみなされます」と告示するとともに、「レポートの「盗用・剽窃」は試験における不正行為とみなされ、「商学部試験における不正行為者の処分規程」に則り、不正行為を行った者は、「退学」または当該学期内に履修中の全科目の成績を「不可(G)」とした上で「無期停学」に付されます」としている。

また適切な引用をおこなって嫌疑をかけられないように注意するとともに、他人に「盗用・剽窃」されないように電子ファイル等の取り扱いには十分に注意するように、としている。

(3) 早稲田大学文化構想学部(2013)「レポートの不正行為について」、早稲田大学文化構想学部(2014)「レポートに関する不正行為について(重要)」

http://flas.waseda.jp/hss/wp-content/uploads/sites/3/2013/02/shiken_02.pdf

http://flas.waseda.jp/cms/wp-content/uploads/sites/2/2014/12/20141224_report.pdf

2013年告示によれば、定期試験のみならず、「理解度の確認」テストや「レポートに関する不正行為」についても停学を原則とする厳しい処分を科すとしている。

2014年12月24日付け告示によれば、「**ここ数年、毎学期末に、こうした処分の対象となる学生が幾人も出ています**」と書かれている。

(4) 早稲田大学教育学部(2014)「試験及びレポートでの不正行為には厳しく対応します！」

http://www.waseda.jp/fedu/edu/assets/uploads/2014/12/20141210_不正行為への対応について.pdf

<http://www.waseda.jp/fedu/edu/students/record/>

「レポートにおける不正行為(盗用・剽窃など)について」、下記のように記載されている。

処分: 停学、譴責、戒告

成績: 当該科目が0点、履修中の全ての科目が0点

※学生処分が発生した場合、処分内容や該当者の所属する学科専修等を掲示にて発表する場合があります。

(5) 早稲田大学法学部(2014)「試験における不正行為者の処分に関する法学部細則」

http://www.waseda.jp/flaw/law/assets/uploads/2014/05/2013_spring_saisoku.pdf

処分対象となる不正行為の例の中に、「剽窃行為によりレポート等を作成すること」がある

2. コピペの実態に関するレポートおよび調査

(1) 教員ステーション(2014)「【アンケート結果】ユーザーのみなさんに聞いた！剽窃やコピペをめぐる実態とは」2014/05/13

<http://www.kyoushi.jp/entries/2165>

教員ステーションは、教員志望の大学生によってつくられる、『ユーザー参加型』の教員志望の大学生向け情報ポータルサイトである

本アンケート調査によれば、「実際に剽窃やコピペをやった経験のある人、あるいは剽窃やコピペを「やってはいけない」という認識をもっている人はどちらも8割以上と、比較的高い割合を占めていた」一方で、「2割弱という決して少ないとはいえない割合の人が剽窃やコピペをやった経験があり、かつそうした人びとのなかでは、剽窃やコピペをダメだと認識していた人の数の方が多かった」とされている。

(2) 杉光一成「大学等における「コピペ」問題の現状と対策及びその課題」

<http://gakkai.univcoop.or.jp/pcc/paper/2010/pdf/58.pdf>

著者は、金沢工業大学大学院工学研究科知的創造システム専攻教授で、コピペルナーの開発者

アンケート調査の結果として、提出レポートに関して「35%の学生がコピペをしたことがあり、その過半数が4回以上コピペをしながら、約4分の3のコピペが発覚されないままになっている」こと、「コピペをした学生の過半数(55%)はコピペそのものが「良くないこと」という認識を持っている」ことが明らかになったとしている。

インターネット時代のPCでのコピペによる剽窃を、本・雑誌を読んで写す古典的剽窃と区別しながら、大学におけるコピペ問題の現状・対策を論じている。

(3) 近藤暁夫「地理学の卒業論文指導における学生のコピペ問題と対応——愛知大学地理学専攻の試行錯誤」2014年人文地理学会大会報告、ポスターセッションP03

<http://taweb.aichi-u.ac.jp/geogr/2014jinbunchirigakkaiP03.pdf>

3. コピペ・剽窃・引用に関わるガイドライン、学生に対する注意喚起ほか

(1) 早稲田大学政治経済学部(2005)「レポートにおける盗用・剽窃行為について」

<http://www.waseda.jp/seikei/seikei/student/pdf/20051117touyouhyousetu.pdf>

早稲田大学の政治経済学部はこれ以後も下記のように、同趣旨の文書を少し改訂しながら公表している。

早稲田大学政治経済学部(2006)「レポートにおける盗用・剽窃行為について」2006年3月

<http://web.archive.org/web/20150417065919/http://www.waseda.jp/seikei/seikei/student/pdf/20060630touyou.pdf>

早稲田大学政治経済学部(2007)「レポートにおける盗用・剽窃行為について」

http://web.archive.org/web/20150417064743/http://www.waseda.jp/seikei/seikei/student/pdf/20070412_repotnohyousetunituite.pdf

(2) 早稲田大学教育学部(2012)「盗用・剽窃をいませんか？ルールを守って「正しいレポート」を！」
2012年6月

http://www.waseda.jp/fedu/edu/assets/uploads/2014/07/20120620_教育学部レポート作成の手引き.pdf

(3) 早稲田社会科学部(2014)「レポート・論文での「盗用・剽窃」禁止と「引用の仕方」について」

<http://www.waseda.jp/fsss/sss/assets/uploads/2014/05/report.pdf>

(4) 早稲田大学法学部(2014)「レポートの「剽窃」は不正行為です！」

http://www.waseda.jp/flaw/law/assets/uploads/2014/05/3_hyousetu-fusei.pdf

(5) 早稲田大学グローバルエデュケーションセンター(2013)「WASEDA式アカデミックリテラシー レポートにおける剽窃行為について」

http://www.waseda.jp/gec/about/info/academic/info_report/

(6) 早稲田大学(2014)「剽窃定義確認書」

早稲田大学の下記研究科では、修士論文提出予定届などとともに、剽窃定義確認書を提出する必要がある。また紙媒体の修士論文とともに、修士論文データも同時に提出する必要がある。

早稲田大学経済学研究科

http://www.waseda.jp/fpse/gse/assets/uploads/2014/12/2014_03_hyousetsuteigikakuninsho.pdf

早稲田大学政治学研究科

http://www.waseda.jp/fpse/gsp/assets/uploads/2014/07/2014_03_hyousetsuteigikakuninsho_2.pdf

(7) 早稲田大学 商学部(2015)『ROUTE2015-商学部の手引き-』第2章「授業・学生生活案内」

http://www.waseda.jp/fcom/soc/assets/uploads/2015/01/05_01_classes_shin.pdf

「レポート作成時に、適切な引用(参考にした書物、Web サイトの他人の文章・資料等は出典を明らかにする)を行い、盗用・剽窃の疑いをかけられないよう慎重に取り組んでください。これを怠った場合、不正行為としてみなされ、次項の「試験受験時の不正行為者の処分について」と同様の処分が下ります。」(p.34)と記載されている。

(8) 早稲田大学スポーツ科学部(2014)『2014年度 学部要項』pp.34-35

http://www.waseda.jp/tokorozawa/kg/doc/20gakubuyoukou_kanendo/20gakubuyoukou2014.pdf

「レポート、論文作成時の注意～盗用・剽窃行為などの禁止事項について～」が2頁にわたって記載されている。

(9) 神戸大学経済学部・大学院経済学研究科「レポート・論文作成時の盗用・剽窃に関する注意」

<https://www.econ.kobe-u.ac.jp/student/undergrad/test.html>

<http://www.econ.kobe-u.ac.jp/student/pdf/report-hyosetsu.pdf>

(10) 拓殖大学(2014)「剽窃・盗用防止ガイドライン」

<http://www.takushoku-u.ac.jp/students/2014labo-app-hyosetu.pdf>

(11) 関西学院大学経済学部(2012)「剽窃禁止喚起文書」

http://www.kwansei.ac.jp/s_economics/attached/0000037042.pdf

(12) 立命館アジア太平洋大学(2012)「剽窃に関わるガイドライン」

<http://www.apu.ac.jp/academic/page/content0025.html/>

4. コピペ・剽窃・引用に関わる解説文書

(1) 関西大学『剽窃について』12頁

<http://www2.kansai-u.ac.jp/econosc/hyosetsupdf.pdf>

(2) 関西大学経済学会「引用の作法・剽窃について」

<http://www2.kansai-u.ac.jp/econosc/hyosetu.html>

<http://www2.kansai-u.ac.jp/econosc/hyosetu2.html>

<http://www2.kansai-u.ac.jp/econosc/hyosetu3.html>

<http://www2.kansai-u.ac.jp/econosc/hyosetu4.html>

<http://www2.kansai-u.ac.jp/econosc/hyosetu5.html>

<http://www2.kansai-u.ac.jp/econosc/hyosetu6.html>

<http://www2.kansai-u.ac.jp/econosc/hyosetu7.html>

5. コピペ・剽窃・引用に関わるサイトの紹介

(1) 菅谷奈津恵(2014)「引用・剽窃に関するサイトの紹介」

<http://www.cam.hi-ho.ne.jp/leto/plagiarism.pdf>

第25回第二言語習得研究会全国大会 2014年12月13日-14日開催 《パネル・ディスカッション》「第二言語での引用はなぜ難しいか」における関連資料。著者の所属は東北大学高度教養教育・学生支援機構/国際文化研究科

6. コピペ・剽窃・引用に関わるその他の文書

(1) 江口聡(2015)「剽窃を避ける」、江口聡(2014)「レポートの書き方」

<http://yonosuke.net/eguchi/archives/2878>

<http://yonosuke.net/eguchi/archives/587>

著者は、京都女子大学現代社会学部教授

(2) 慶應義塾大学図書館「剽窃を避けるために」

<http://project.lib.keio.ac.jp/kitie/cite/copyright/16.html>

(3) 佐久間卓也(2012)「学生のコピペ対策 倫理向上へ遅れ取り戻せ」『京都新聞』2012年2月29日掲載

<http://www.kyoto-np.co.jp/kp/rensai/syuzainote/2011/120229.html>

著者は京都新聞 文化報道部 所属

「〇〇について述べよ」といった漠然とした設問では、学生が何を書けば良いか分からず、コピペを誘発しかねない」というなどの適切な指摘がある

7. レポート、論文作成法

(1) 立教大学 大学教育開発・支援センター (2012)『Master of Writing』24頁

http://www.rikkyo.ac.jp/aboutus/philosophy/activism/CDSHE/_asset/pdf/MOW.pdf

<http://www.rikkyo.ac.jp/aboutus/philosophy/activism/CDSHE/journal/leaflet/>

(2) 東京大学GaCos (Gateway to Academic Contents System) 「レポート・論文支援ブック:ここから始めよう」

http://www.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/manual/supportbook/supportbook_j.pdf